



芝山町議会・多古町議会連絡協議会では、例年圏央道の完成等に関する決議書を千葉国道事務所に出し、早期完成と休憩施設の設置を要望しています。5月30日に行われた芝山町議会・多古町議会連絡協議会の役員会で本年度も両町議会が発議案として提出することで決定し、今定例会で決議を行いました。本文については、以下のとおりです。

圏央道の 一日も早い完成を

圏央道（大栄・横芝間）の 早期完成等に関する決議

首都圏中央連絡自動車道（以下、「圏央道」という。）は、首都圏の広域的な幹線道路網を形成する首都圏3環状道路の一つであり、首都圏の道路交通の円滑化をはじめ、災害時等の緊急輸送路の確保や沿線の地域づくりの活性化等、国土強靱化と地方創生を実現していくうえで極めて重要な役割を担う高規格幹線道路として、地域住民をはじめとする多くの人々が、全線の開通を待ち望んでいる。

千葉県内においては、唯一の未開通区間となっている、大栄ジャンクション・松尾横芝インターチェンジ間（延長18・5km）の本体工事に昨年3月着手され、2024年度供用開始の目標達成に向けて、これまで以上に事業が加速していくことを望んでいる。



関東一円の大動脈となる圏央道の全線開通は、人や物の流れの双方が活性化するためのみならず、観光、物流、また産業の発展など、地域経済に大きな好循環をもたらすことが期待できる。成田国際空港周辺地域においては、企業立地や市場拡大、生産活動等のポテンシャルを最大限に活かすため、効

果的な予算の投入により一日も早い完成を目指すとともに、地域交流拠点との接続が可能となる休憩施設を、成田国際空港周辺に設置することを強く要望するものである。

以上、決議する。

令和元年6月18日

千葉県多古町議会

道の駅経営状況等報告

これからの経営に期待

多古町の道の駅は株式会社多古が経営し、多古町が54.4%の株式を保有する※第3セクターであることから、多古町議会では、道の駅多古あじさい館の営業報告を毎年6月定例会で受けています。

例年、町から経営状況の説明を受けるのみでしたが、今回はより詳細な経営・経理の状況を聞き、把握するため、参考人として店長と以前からおり、経理を担当する支配人を招致し、道の駅の現状とこれからのについてうかがうことができました。主な質疑の要約等をお伝えします。

※第3セクター…官民が共同で出資をする企業。
第1セクターは公企業、第2セクターは私企業を指す。



経営に変化は

菅澤博隆議員 営業利益が前年対比でみるとプラスになっていて、経営としては良い方向に向かっていくと思うが、どういった変化があったか。
町長 株式会社多古は法人の体をなしていないことが多くあり、それを店長に改善を促していただきました。昨年7月から現在の社長に就任いただき、さまざまな意見を拝聴しながら、結果が徐々にできてきているのかなと感じています。

昼メニューの延長は困難

石渡悦子議員 ちょい呑みのいわゆる夜メニューを昼メニューのようにできないのは何か問題があるのか。
店長 キッチン多古については、パートタイマーでやっている関係で、夜に働いてもらうのは困難であり、昼のメニューを延長したものをだすのは非常に難しい状況です。

商品陳列の工夫は

菅澤 環議員 売れる商品の面積を増やすというように工夫しているか。
店長 売上げが上がらないものをすべてカットしていいものか、地元の地域振興の核ということになりますと、そういうことはやらない方がいいだろうと考えています。売上げを上げるという観点からは、売り上げアップを図っていききたいと思います。

質疑の中での主な提案

- 若い出品者を増やす具体的検討を
- 幼児用のイスの拡充
- ドックポールの設置
- 多古高校生徒とのコラボレーションメニューを作っては
- 道の駅アプリの告知
- 残留農薬のチェックを



6月18日、菅澤 環議員ほか4議員から「圏央道（大栄・横芝間）の早期完成等に関する決議」が提出され、賛成全員で可決しました。

決議書は議長が国土交通省及び東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）に提出します。